

症例報告: 疎経活血湯

ペットの種類 = シーズー 性別 = オス 年齢 = 14 才
体重 = 5.5

[相談内容]

後ろ足としっぽに痛みがあり、歩けない状態です。痛み止を処方してもらい飲ませているが、だんだんと効き目が悪くなっているの

で漢方薬で痛みを和らげてあげられればと考えています。

後ろ足も浮腫んで来たので体の流れを良くしてあげたい。

[症状の経過・状況]

年始から足に痛みがあるようで、びっこを引いてました。注射と薬で、症状が治まっていたが、5月頃から血尿や膀胱炎も発生し、片足を引きずるようになりました。

完全に歩けなくなったのは8月中頃から現在に至る。

[現症]

胃 = 胃は丈夫

大便 = 下痢便 便秘 排便時痛(苦しそうだ)

小便 = 尿が近い 尿の色が濃い

皮膚の状態 = 以前は皮膚炎がありましたが、今はありません。

主食 = 茹でたお肉(牛、豚、鶏)

食欲 = なし

その他好物など = ムラがあり、食べさせるのに苦労しています。
ちくわ、ソーセージ
体力 = なし
服用している薬 = 痛み止、下痢止め

[考察]

年齢も高いため、基本的に腎虚がベースとなっていると考えられます。
また、痺証も疑われると考えられる。

[処方内容]

疎経活血湯 0.5 g (合) 八味地黄丸 0.5 g

[経過]

9/16

服用開始。

11/26

痛みが段々と減ってきているらしく、びっこを引いて動けるようになってきた。

浮腫がまだあるそうなので、水の代謝を促すために

八味地黄丸⇒牛車腎気丸に変更して処方。

1/30

痛みや浮腫の改善がみられた。しかし、びっこは、まだしている。

家の中を元気よく歩く様になったので、引き続き服用を希望。

引き続き疎経活血湯 0.5 g (合) 牛車腎気丸 0.5 gを継続。

[結果]

痛みに疎経活血湯を使い、高齢なので補腎をメインで服用しました。

疎経活血湯は、風に加えて寒湿の病邪を除去して、血行を促進し狙い、血液の栄養を補いました。

八味地黄丸で補腎し、尚且つ附子で鎮痛・補陽効果が発揮したと思う。

浮腫がとれなかったなので、途中から八味地黄丸に車前子・牛膝を加えた**牛車腎気丸**に変更。

浮腫がとれたために、動きが活発化が見られた。

最後に気血両虚・肝腎不足である症例だったので、風寒湿痺を改善する**独活寄生丸**でも効果があると思われます。